

Arcserve UDP 8.0 動作要件

(ベアメタルリカバリ対応)

2021年12月24日更新

Arcserve UDP 8.0 ベアメタルリカバリ機能の対応機種（物理環境）です。
本ドキュメントに記載のない機種の対応状況については、当社担当営業までお問い合わせください。

索引

- [Windows サーバー ベアメタル リカバリ対応](#)
 - [FUJITSU Server PRIMERGY 対応機種](#)
 - [FUJITSU Server PRIMEQUEST 対応機種](#)
 - [留意事項](#)
- [Linux サーバー ベアメタル リカバリ対応](#)
 - [FUJITSU Server PRIMERGY 対応機種](#)
 - [FUJITSU Server PRIMEQUEST 対応機種](#)
 - [留意事項](#)

Windows サーバー ベアメタル リカバリ対応

FUJITSU Server PRIMERGY 対応機種

ラックサーバー	タワーサーバー	ブレードサーバー (注 1)
RX100 S7/S8	TX100 S3	BX2560 M1/M2
RX200 S6/S7/S8	TX120 S3	BX2580 M1/M2
RX300 S6/S7/S8	TX140 S1/S2	
RX350 S7/S8	TX150 S7/S8	
RX500 S7	TX200 S7	
RX600 S6	TX300 S6/S7/S8	
RX4770 M1/M2/M3	TX1310 M1	
RX1330 M1/M2/M3/M4	TX2540 M1	
RX2520 M1/M4/M5	TX1320 M1/M2/M3/M4	
RX2530 M1/M2/M4/M5/M6	TX1330 M1/M2/M3/M4	
RX2540 M1/M2/M4/M5/M6	TX2560 M1/M2	
RX2560 M1/M2	TX2550 M4/M5	

注 1 マルチデバイス構成はサポート対象外

FUJITSU Server PRIMEQUEST 対応機種

FUJITSU Server PRIMEQUEST は、以下の製品のみ対応します。

- Arcserve UDP 8.0 Premium Edition
- Arcserve UDP 8.0 Premium Plus Edition

エントリーモデル	エンタープライズモデル	ロングライフモデル
3400S Lite	3400E	3400L
3400S	3800E	3800L

留意事項

- ベアメタル リカバリの対象は、PRIMERGY/PRIMEQUEST の内蔵ハードディスクのみとなります。ETERNUS ディスクアレイの復旧は、ベアメタル リカバリ後に行ってください。
- Windows Server 2012 以降の記憶域スペースが存在する環境のベアメタル リカバリでは、記憶域スペースは作成されません。ベアメタル リカバリ後に記憶域スペースを再作成し、データをリストアしてください。
- ベアメタル リカバリに使用する復旧用メディアを作成する際は、Windows ADK (Windows アセスメント&デプロイメント キット) を Microsoft 社のサイトよりダウンロードし、インストールする必要があります。
- 復旧用メディア作成時に必要となる Windows ADK for Windows 10 のバージョンは、復旧対象となるマシンの OS のバージョン番号(winver コマンドの出力結果)と同じバージョンのものを使用してください。
なお、Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 環境で使用する復旧用メディアを作成する際は、Windows ADK for Windows 10: version 1903 を使用してください。
- 復旧対象マシンのストレージ (ハードディスク等) やネットワークを認識させるためにデバイスドライバが必要な場合は、復旧用メディアの作成時 (または 復旧作業時) 、対応するデバイスドライバが必要です。

Linux サーバー ベアメタル リカバリ対応

FUJITSU Server PRIMERGY 対応機種

ラックサーバー	タワーサーバー
RX1330 M2/M3/M4	TX1330 M2/M3/M4
RX1320 M2	TX1320 M2/M3/M4
RX2520 M4/M5	TX2560 M1/M2
RX2530 M1/M2/M4/M5	TX2550 M4/M5
RX2540 M1/M2/M4/M5	
RX2560 M1/M2	

FUJITSU Server PRIMEQUEST 対応機種

FUJITSU Server PRIMEQUEST は、以下の製品のみ対応します。

- Arcserve UDP 8.0 Premium Edition
- Arcserve UDP 8.0 Premium Plus Edition

エントリーモデル	エンタープライズモデル	ロングライフモデル
3400S Lite	3400E	3400L
3400S	3800E	3800L

留意事項

- RedHat Enterprise Linux 8.x 環境における、ベアメタル リカバリは、Arcserve UDP 8.1 適用環境にて対応します。
- オンボード SATA コントローラ上で構成されたソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID Linux) 環境のベアメタル リカバリは対応していません。
- Btrfs フォーマットを使用した環境のベアメタル リカバリは対応していません。

- ベアメタル リカバリの対象は、PRIMERGY/PRIMEQUEST の内蔵ハードディスクのみとなります。ETERNUS ディスクアレイの復旧は、ベアメタル リカバリ後に行ってください。
- ベアメタル リカバリでは、Arcserve UDP Linux Agent によって作成される LiveCD の他に、CentOS-LiveCD をベースに作成した CentOS ベース LiveCD を使用できます。
- CentOS-LiveCD は、CentOS の公式サイト等からダウンロードしてください。
- CentOS ベース LiveCD 作成時に使用する CentOS-LiveCD は、以下の Arcserve 社サイトを参照ください。

CentOS ベースの Live CD 作成をサポートする CentOS Live CD ISO イメージのバージョンについて
<https://support.arcserve.com/s/article/115005875786?language=ja>

- CentOS ベース LiveCD 作成時に使用する CentOS-LiveCD は 64bit を使用してください。
- CentOS ベース LiveCD では、PXE ブートでのベアメタル リカバリは実行できません。
- CentOS ベース LiveCD 内にドライバを追加で組み込む場合、作成時に使用した CentOS-LiveCD と同じバージョン用のドライバを使用してください。
- RedHat Enterprise Linux 7.x 以前の環境での動作確認は、CentOS ベース LiveCD を使用して実施しています。